

## 自然科学分野の教育における教養教育

愛知医大 生化学 柴田幸雄 太田隆男

福沢女子短大 岩田幸子

平成三年七月から新しいカリキュラムが実施された。考へれば昭和二十三年からけいまつた新制専修教育 初等教育から考へると六三制(陸軍統治下)以来の大変動といえよう。昭和四十三年頃を中心とした医学部を中心とした大学紛争のさしづめられた講義制の停止 臓器別教育の専攻といへるものであろう。これらにこたへてはすてに同志社家政、言語、日本医史学会などで種々の面から発表してきたが、ここにあつたため家政学との関連について検討してみたいと思ふ。

①旧制専修における師範 高等師範 文理科大学卒業の教員による教育からの教育者部(勿論各学部卒業の教員による教養課程(教養学部、医学進修課程)での教育への転換) ②大東亞戦下での国定教育での数学、物理、生物の教育(東大生理学の橋田邦彦氏の文部大臣としての内務、京大生化学-生理学-の荒木寛三郎氏の秘書長としての内務) ③旧制専修において主として生化学の梅沢守が中心であり順手よく分類学から出奔してあり地理学とも行政地理、産業交通都市と進められていた。この進め方は最近では遺伝、進化、分子生物を中心として行つたため、教養と専攻の区別がなくなつてしまつてゐる。(春権動物のフアラチンリニ改題といふ春権動物のチケネツといふ) ④昭和三十年 看護学院の生理学にこたへて行つた本学の当分、無機化学、有機化学、物理化学、生化学、栄養化学と一年間でつたこと知ある。⑤学問用語のゆがみであるドイツ語よみと英語の混同(カタカナ書きの略)やその混同の混同がある。(S) 必須脂肪酸、高等不飽和脂肪酸、多価不飽和脂肪酸、脂肪、トリグリセリド、トリグリセライド、トリアミールグリセロール、と混同してゐる。種々検討すべき問題が多々あると思ふ。